

かんぶつ え

# 灌仏会～はなまつり～

4月8日はお釈迦さまがお生まれになったことをお祝いする日です。様々な草花で飾った花御堂の中心には誕生仏像。そこに甘茶を掛けてお祝います。

## ●甘茶を掛ける意味

お釈迦さまがお生まれになったとき、天が感動して甘露の雨(甘い雨)を降らせた、との言い伝えをあらわしています。



## ●阿弥陀さまとお釈迦さま

阿弥陀さまの「はたらき」をこの地球上で最初に語って下さったのがお釈迦さまであり、それが説かれているのが『仏説無量寿経』というお経さまです。阿弥陀さまがご自身のことを私たちに伝えるためにお釈迦さまとしてお生まれになったんですね。

## ●伝説●

お釈迦さまはお生まれになってすぐに、立ち上がって7歩あるかれ、右手の人差し指で天を、左手の人差し指は地面を指して「天上天下唯我独尊」と言われました。

「7歩」には迷いの世界である『六道』を超えることがあらわされています。

- ① じごく 地獄…大変な苦しみの世界
- ② がき 餓鬼…飢えと渇きの世界
- ③ ちくしょう 畜生…本能だけで生きている世界
- ④ しゅら 修羅…争いや怒りの絶えない世界
- ⑤ にんげん 人間…人間の世界
- ⑥ てん 天……人間にとって理想の世界ではあるが、必ず終わりがある迷いの世界。楽しかった分、終わりの時は苦しみとなる。



てんじょうてんげゆいがどくそん  
天上天下唯我独尊

この地球上、さらに宇宙全体のどこをさがしても「私」という存在、いのちは、たったひとつしかない尊いものであるという意味です。「自分だけがえらい」という意味で間違って使う方がいらっしゃいますが、本来はいのちの尊さや不思議さをあらわす言葉です。自分が尊い存在であるならば、誰もが一人ひとり尊い存在なのです。

